

微細藻類・海洋微生物の燃料・素材等への応用と最新動向

～脱炭素化に向けた利活用と技術課題もふまえて～

<https://www.rdsc.co.jp/seminar/250632>

[LIVE/アーカイブ]

◆日時：2025年06月25日（水）10:30～16:30

【アーカイブ配信：6/26～7/3】

◆会場：WEBセミナー（オンライン開催）

◆聴講料：1名につき55,000円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき49,500円（税込）

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料（2名で55,000円（税込））

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：宮崎大学 農学部 海洋生物環境学科 教授 博士（農学） 林 雅弘 氏

【講座の趣旨】

各種微細藻類の産業利用研究がブームになり、様々な公的資金や補助金が投入されているが、実際にすでに実用化されてビジネスになっている例はそれほど多くない。微細藻類の利用と産業利用の間に存在する様々なハードルと、それを克服して実用化した具体例について講義する。

また、脱炭素化にむけても微細藻類の利用が注目されているが、実際に脱炭素化にむけて克服しなければならない技術的ハードルについても指摘する。

【プログラム】

1. はじめに

- 1-1 微細藻類の基礎知識
- 1-2 微細藻類ビジネスの現状
- 1-3 微細藻類ビジネスの問題点
- 1-4 研究材料としての微細藻類

- (1)微細藻類のメリット
- (2)微細藻類のデメリット
- (3)実用化に向けた技術的課題
- (4)脱炭素化にむけて克服しなければならない技術的ハードル

2. 微細藻類の培養・生産プロセス技術

- 2-1 微細藻類の培養技術
 - (1)微細藻類培養の基本プロセス
 - (2)スケールアップとそのポイント
- 2-2 微細藻類の成分回収・分離・抽出技術
 - (1)微細藻類の成分回収・分離・抽出技術とそのポイント

3. 各微細藻類の特徴・培養のポイントと実用化例

- 3-1 ユーグレナ
 - (1)ユーグレナの生理生態学
 - (2)培養の際のポイント
 - (3)ユーグレナの用途別機能及び有効成分と基本的な生産プロセス
 - (4)ユーグレナの従属栄養培養による脱炭素

3-2 クロレラ

- (1)クロレラの生理生態学
- (2)培養の際のポイント
- (3)クロレラの用途別機能及び有効成分と基本的な生産プロセス
- (4)クロレラの産業利用に向けた課題とその克服事例

3-3 ヘマトコッカス

- (1)ヘマトコッカスの生理生態学
- (2)培養の際のポイント
- (3)ヘマトコッカスの用途別機能及び有効成分と基本的な生産プロセス
- (4)ヘマトコッカスの産業利用に向けた課題とその克服事例

3-4 ラビリンチュラ

- (1)ラビリンチュラの生理生態学
- (2)培養の際のポイント
- (3)ラビリンチュラの用途別機能及び有効成分と基本的な生産プロセス
- (4)ラビリンチュラの従属栄養培養による脱炭素

4. 産業利用・脱炭素社会に向けた今後の活用展開

- 4-1 ユーグレナ
 - (1)バイオ燃料
 - (2)バイオプラスチック
- 4-2 ラビリンチュラ
 - (1)飼料
 - (2)食品
 - (3)医薬品
 - (4)バイオ燃料

5. 終わりに

多様な微細藻類の産業利用にむけて～必要性と技術課題～

「微細藻類」セミナー申込書

LIVE

アーカイブ

※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>